

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年9月19日から2004年9月25日の週

目次

週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	3
香港	4
台湾	4
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	4
米国 / カナダ	5
欧州	5

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年9月19日から2004年9月25日の週

この文書は情報提供を目的としており投資助言とは見なされませんし、この文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているとも見なされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現も致しません。

週間ハイライト

国際

モバイル/無線通信

- **米国のアリンクとノルウェーのテレノルは航空機内で利用可能な携帯電話技術の採用を働きかける。**アリンク・テレノル・システムは当初インマルサット衛星通信システムを利用する。

ソフトウェア

- **マイクロソフトはソフトウェア設計図を開示。**マイクロソフトは60以上の政府、国際機関に対してオフィス・ソフトウェア、アウトLOOK、ワード、エクセルのソースコードを開示する。

韓国

IT

- **ヒュンダイ情報技術は米国のエイリアン・テクノロジーと提携しラジオ周波数認識 (RFID) ハードウェアを開発。**RFID マイクロチップを製品等に取り付けその動きを追跡できる。

モバイル/無線通信

- **LG 電子とヒュンダイ自動車は自動車用マルチメディア・サービスの研究開発で覚書に調印。**自動車に交通情報とデジタル・マルチメディア放送を供給する。

半導体

- **サムスン**は既存技術を利用して世界で初めて**2ギガバイト DDRDRAM を開発**。65 ナノメートル以下の技術ではなく既存の80 ナノメートル技術を利用した。設計と処理方法を改善した。
- **今年の世界の半導体市場規模は前年比 20%増の 2200 億米ドルの見込み**。来年は成長が鈍化する見込み。サムスン電子の第三四半期メモリー・チップ売上高は前期の32 億米ドルを上回る見込み。
- **ハイニクス半導体は 1999 年から昨年にかけての粗雑な決算罰金を受ける見込み**。金融監督庁の罰金は170 万米ドル以下と見られている。韓国の格付け機関はハイニクスの格付けを据え置いた。

通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年9月19日から2004年9月25日の週

- 8月末の携帯電話加入者数は3600万で前月末の3610万に比較して減少。韓国政府は不法営業行為で携帯電話運営3を100日間の営業停止処分とした。市場占有率はSKが52.1%、KTが32%。

中国

IT

- シスコ・システムズは中国での売上高が3分の1増加すると見込む。シスコは上海の研究開発所に5年間で3200万米ドルを投資する。100人以上を雇用する予定。
- データ保存ネットワーク機器のブロードコム・コミュニケーション・システムズは中国での業務を拡大。ブロードコムはサーバー製造最大手のランチャオとブロードコムのSAN販売で提携をした。

モバイル/無線通信

- CDMA 利用者数が中国第二位のチャイナ・ユニコムは携帯電話の製造業者から運営業者を含めた世界的な提携を模索。ユニコム主催の国際会議に参加したのはKDDI、ハチソン、スプリント等。
- エリクソンは来年年央に新規3Gライセンスが出た後中国が最先端WCDMA機器である3Gイボルブドの最大市場になると見込む。MP3のダウンロードはWCDMAで20秒だがイボルブドでは4秒。
- 携帯電話設計のテックフェイス・ワイヤレスは香港上場を放棄しナスダックに絞る。香港の場合資金調達額は1億3000万米ドルだが米国では2億米ドルのため。主幹事はメリル・リンチ。
- 中国の新規携帯電話加入者数は伸び悩み業界第二位のチャイナ・ユニコムの8月増加数は前月比で8.1%減少。チャイナ・モバイルの新規加入者数増は前月比で4.9%増加。
- TCLコミュニケーション・テクノロジーは強気の見通し。フランスのアルカテルとの提携が業績に貢献すると見ている。中国の携帯電話普及率は20%で、2008年に5億に増加し40%になる見込み。

メディア、娯楽、ゲーム

- 南京の携帯電話用ゲーム制作会社のBbmfは事業拡大に伴う1000万米ドルの資金調達で日本の数社と提携交渉中。既にタカラの子会社のアトラスが110万米ドルを投資している。
- 中国で初めて小説をSMSで配信。この小説を映画化して携帯電話に配信。中国の携帯電話利用者は2億6000万。中国正月等には100億通のSMSが送付され1億2000万米ドルの売上となる。
- バイアコムは北京テレビとの戦略的提携を発表。中国語の音楽番組及び娯楽番組を制作する。バイアコムは並行してMTVとニッケルオデオンを拡販している。

ソフトウェア

- SAPは1200万米ドルを投じて中国の大連に中国、韓国、日本を始めとしたアジア太平洋地域の法

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年9月19日から2004年9月25日の週

人顧客用サービス・センターを開設。地域内では4200以上の法人顧客がSAPを導入している。

- 世界第二位のリナックス・ソフトウェア供給業者であるレッド・フラッグは今年黒字転換を見込む。今年の売上高は50%以上の増収となる見込み。中国でのリナックス関連では市場占有率56%。

通信

- 香港とニューヨークに重複上場を計画中のチャイナ・ネットコムは上場に伴う資金調達額を15億米ドルから10億米ドルに削減。ネットコムは今年通年の純利益を7億8500万米ドルと予想。

香港

インターネット

- PCCWはインターネット・サービスでの競争相手を不利にするため独占的な立場を濫用し価格を不当に下げたとは監督官庁は判断せず。家庭用サービスの価格を50%下げた。

モバイル/無線通信

- ハチソン・ワンポアは子会社のハチソン国際通信 (HTIL) を上場させ10億米ドル近くを資金調達の予定。上場後の株価により14億から21億米ドルの未実現益が得られる見込み。

通信

- 香港の通信業者はシンセンでのケーブル・システム敷設を認められる。これまでは香港域内に業務が限られていた。広東省のパール・リバー流域には5万以上の香港系列企業が散在している。
- 通信監督官庁はシティ・テレコム VoIP サービスの合法性を PCCW の提訴に対して擁護。スマートーンの国際 IP 電話サービスについても合法的と判断した。

台湾

メディア、娯楽、ゲーム

- 台湾の電子企業ベンQはハリウッドのダブル・エッジの60%株式を500万米ドルで取得。ダブル・エッジはデジタル特殊効果、アニメーション等の制作会社。ベンQはデジタル製品を生産。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 **週間市場調査**

2004年9月19日から2004年9月25日の週

通信

- シンガポール・テレコムは高速第三世代携帯電話（3G）サービスの商業的供用を開始すると発表。最初の1ヶ月間は150顧客に試験的に供用する。3G用携帯電話は1台589米ドル。
- シンガポール第三の電話会社スターハブは株式を新規公開し4億8180万株を0.68米ドルで公募。スターハブの業務は電話、ケーブル・テレビ、ブロードバンド・インターネット・サービス。
- テック・パシフィック（TP）の4億9600万米ドルの上場については最大株主のCVCアジアが決定。TPは香港、オーストラリア、シンガポール等でコンピューター、ソフトウェア等を販売している。

米国/カナダ

メディア、娯楽、ゲーム

- オンライン小売のイー・ミュージックは利用者が独立系の音楽を探し出せるように改革。ナップスター、iTunes等は主要レコード会社の楽曲を販売している。

インターネット

- 米国のインターネット利用者の半分近くは2週間以上ウェブ無しではいられないと調査に答える。ウェブ使用中止症候群にかかる人もいる。インターネット普及10年で消費者の生活は変化した。

欧州

モバイル/無線通信

- ボーダフォンはクリスマス期間に第三世代携帯電話（3G）用機器を投入予定。欧州と日本で利用可能。供給業者はシャープ、モトローラ、ソニー・エリクソン、NEC、ノキア、サムスン等。